

平成二十二年三月十一日提出
質問第二五〇号

外務省機密費の上納問題に関する再質問主意書

提出者
塩川鉄也

外務省機密費の上納問題に関する再質問主意書

一 前回の質問主意書（質問第一七七号）において、「鳩山内閣は、いわゆる外務省機密費の上納問題について、『かつて外務省の報償費が総理大臣官邸の外交用務に使われていたことがあったことが外務省において判明した』としている。岡田外相は、二月五日の会見で、記者から『これまで上納問題に対して、官邸、外務省についても「全くそのようなことはない」と全面否定してきたと思いますが、それとの整合性はどうなりますか』と問われて『整合性はありません。』と答弁している。今回の政府見解と整合性のない過去の政府見解とは具体的にどのようなものか。国会でそのような整合性のない答弁は、いつ、誰（大臣及び政府参考人）によつて、どのような内容で行われたか。整合性のない国会答弁をすべて明らかにされたい。」と質問した。これに対する答弁書（内閣衆質一七四第一七七号）では、「調査に膨大な作業を要することから、お答えすることは困難である」との回答であった。議事録検索によつて調べたところ、外務省報償費の上納について否定している政府答弁として、別紙「外務省機密費の上納問題に関する国会答弁一覧」が行われている。それぞれの答弁について、「かつて外務省の報償費が総理大臣官邸の外交用務に使われていたことがあったことが外務省において判明した」とした今回の政府見解との整合性の有無

について明らかにされたい。

二 一の質問の別紙で列挙した過去の政府答弁は、いずれも上納を否定しており、整合性についての判断は容易に行えると考えるが、もし、これらについて整合性の判断が困難な場合には、整合性がないと考える政府答弁を複数示していただきたい。

三 一の質問の別紙で列挙した答弁以外に整合性がない答弁がある場合は、すべてを明らかにするのは、前回の答弁書によれば、「調査に膨大な作業を要する」とのことであるから、いくつか追加的に示されたい。

四 岡田外相は、二月五日の会見で、「刑事事件にもなった事件もありました。そういうことが起こり得るということで、その後、外務省としてはこういった使い方をやめたわけです。」と説明している。前後の文脈から、「刑事事件にもなった事件」とは、松尾元要人外国訪問室長による公金横領事件をさし、「その後、外務省としてはこういった使い方をやめたわけです」とは、外務省の報償費を総理大臣官邸の外交用務に使用することをやめたと理解するが、この理解でよいか。松尾元要人外国訪問室長による公金横領事件は、内閣官房報償費の横領事件と承知するが、外務省の報償費を総理大臣官邸の外交用務に使用し続

けた場合、なぜ、「そういうこと（内閣官房報償費の横領事件）が起こり得る」と考えられるのか。外務省報償費を総理大臣官邸の外交用務に使用することをやめた理由と内閣官房報償費の横領事件との関連を説明されたい。

右質問する。

(別 紙)

外務省機密費の上納問題に関する国会答弁一覧

発言者	肩書	発言内容	会議名	日時			
坂本三十次	官房長官	内閣の報償費で足りなくて外務省の報償費まで使っておるというようなお話でしたけれども、私は全然そんなことは聞きませんね。外務省は外務省、官房は官房だと、そう思っております。 (質問者：寺前巖衆議院議員 (共産党))	衆議院決算委員会	平成 02 年 06 月 14 日			
					内閣官房におきまして、行政を運営するに当たりまして必要とされる報償費につきましては、先ほど申し上げましたとおり内閣官房で予算計上してございまして、ほかから持つてくるというようなことはございませ ん。 (質問者：寺前巖衆議院議員 (共産党))	衆議院決算委員会	平成 02 年 06 月 14 日
森喜朗	総理大臣	外務省報償費が官邸に上納されていることはありません。 (質問者：市田忠義参議院議員 (共産党)) 外務省報償費が官邸に上納されていることはございません。 (質問者：江田五月参議院議員 (民主党))	衆議院本会議	平成 13 年 02 月 06 日			
					なお、内閣官房長官からも度々答弁しているとおおり、外務省の報償費が内閣官房に上納されていることはございません。 (質問者：江田五月参議院議員 (民主党))	参議院本会議	平成 13 年 02 月 07 日
					いわゆる上納という問題につきましては、これは何度も何度もそういうことはないというように申し上げておるわけでございまして、過去にお いてもそういうように答弁しておりますし、私もそういうふうにおし上 げているわけでございします。 (質問者：生方幸夫衆議院議員 (民主党)) (外務省の機密費から迂回して官房の機密費に二十億が流れたという 新聞報道に対し) そのような事実はございません。 (質問者：北澤俊美参議院議員 (民主党))	参議院予算委員会	平成 13 年 03 月 01 日
福田康夫	官房長官	これまで何度も繰り返し返して国会で答弁させていただいておられますけれども、報道にありますすいわゆる外務省の上納というものはございませ ん。 (質問者：江田五月参議院議員 (民主党)) (上納は、本当に間違はなく、ないのでですか。という質問に対し) これ はもうたびたび答弁しております。	参議院予算委員会	平成 13 年 03 月 08 日			
			衆議院内閣委員会	平成 13 年 06 月 08 日			

		(質問者：中沢健次衆議院議員 (民主党)) (内閣官房が一括して払っていたということがあるなら実質的な上納と言えるのではないか。との質問に対し) これは、そういうように経費が入り組んでいたということがあったわけですね。これを上納と言うかどうか、私どもは上納というふうに言っていない。要するに、経費の明細が、項目によって向こうで負担してもらいかいというふうなことがあった。そういうような事実があったというところは確かでありまして、それは、現在と申しますか、十三年度から明確にして疑いのないようにするように改めるところでございます。			
		(質問者：原口一博衆議院議員 (民主党)) いわゆる上納というものがあることはありますね。今までもね。 (質問者：平野貞夫参議院議員) (機密費の上納が予算項目に記載されているという新聞報道についての) けさの新聞報道には財務省のことも関係するように出ておりましたが、事実は全くございません。	参議院予算委員会	平成14年01月30日	
		(質問者：細田博之衆議院議員 (自民党)) お尋ねは、外務省から官邸に機密費と言われるようなものが上納されているということは財政法に違反する、そういう事実はないと承知しております。	参議院予算委員会	平成13年03月19日	
宮次喜一	財務大臣	(質問者：福島瑞穂参議院議員 (社民党)) 外務省の報償費が官邸に上納されていることがあるかという意味のお尋ねがございました。外務省の報償費が官邸に上納されているとの事実はございません。	衆議院本会議	平成13年02月05日	
		(質問者：上田清司衆議院議員 (民主党)) 外務省報償費についてお尋ねがございました。総理からも御答弁がございましたが、外務省報償費が官邸に上納されている事実はございません。	参議院本会議	平成13年02月07日	
		(質問者：市田忠義参議院議員 (共産党)) 外務省所管の報償費は、本省分であると在外分であることを問わず、内閣官房報償費に組み込まれていることはございます。	参議院本会議	平成13年02月07日	
		(質問者：梶原敬義参議院議員 (社民党)) 外務省報償費が内閣官房に上納されているかというお尋ねでございますが、上納されているということはありません。	衆議院外務委員会	平成13年02月28日	
		(質問者：上田勇衆議院議員 (公明党)) これは、予算委員会で繰り返し私も御答弁を申し上げておりますし、官房長官からも御答弁がございましたけれども、外務省報償費が官邸へ上納されているという事実はございません。	衆議院予算委員会 第三分科会	平成13年03月01日	
		(質問者：前田雄吉衆議院議員 (民主党)) 上納があったかどうかという記事を指しておられると思いますが、これは衆議院の予算委員会でも果敢にわたって私どももこうした事実はこ	参議院予算委員会	平成13年03月01日	
河野洋平	外務大臣				

		<p>さいませんとしう御答弁を申し上げてまいりました。これは、外務省報償費は外務省の責任において支出されておるのであって、外務省の報償費が内閣官房に上納されていることではないということを変更して申し上げます。</p> <p>(質問者：北澤俊美参議院議員 (民主党))</p>	参議院予算委員会	平成13年03月08日
		<p>官房長官御答弁のとおりでございますが、もう少し申し上げれば、外務省報償費は外務省の責任において支出されておりまして、外務省の報償費が内閣官房に上納されていることではないというふうに申し上げます。</p> <p>(質問者：江田五月参議院議員 (民主党))</p>	衆議院外務委員会	平成13年03月23日
		<p>これは予算委員会を初めとしてしばしば御質問、お尋ねをいただいておりますが、その都度お答えをさせていただいておりますが、外務省から官邸に、上納金という言葉も妙な言葉だと思えますけれども、そうした上納があるということはありません</p> <p>(質問者：木下厚衆議院議員 (民主党))</p>	衆議院外務委員会	平成13年03月27日
		<p>それから、報償費の問題でございますけれども、予算委員会でもしばしば上納があったのではないかと御指摘がございまして、これに対しては、官房長官からも、上納はなかったことをはっきりとお答えになっておられますし、私もまた、外務大臣として、外務我が国は今後も非核三原則を堅持するか否かの確認からの支出が官邸に上納されたという事実はないということを繰り返し申し上げてまいりました。</p> <p>(質問者：赤嶺政賢衆議院議員 (共産党))</p>	衆議院外務委員会	平成13年03月28日
		<p>(報償費については、最終的には外務大臣の責任であり、あるいは外務省のそれぞれのつかさつかさの上司がきちと決められた手続で決裁をして使っているものであって、それを、何か金をまとめて官邸に届け、官邸が、おしよしよと、その金を自分のものとして使うというやりとりはございませんというのを申し上げているわけでは、</p> <p>(質問者：土田龍司衆議院議員 (自由党))</p>	衆議院外務委員会	平成13年05月18日
		<p>時の総理も、外務大臣も官房長官も、事実なかったと、そのときそのときしっかりと精査をした結果、上納はなかったという結論に至っているということでありますので、かつかりなさを思いますが、やはり上納はないということをお願い申し上げます。</p> <p>(質問者：桑原豊衆議院議員 (民主党))</p>	衆議院予算委員会	平成13年05月28日
田中真紀子	外務大臣	<p>上納の問題につきましては、とにかく関係者に再三再四、過去の経緯について伺っておりますけれども、ないということでございますから、それはそのように申し上げます。</p> <p>(質問者：原口一博衆議院議員 (民主党))</p> <p>午前中も申し上げたように、上納というものはないと総理大臣経験者や官房長官経験者、外務大臣経験者からも伺っておりますので、あるという証拠もありませんので、これはないというふうに理解をいたしております。</p> <p>(質問者：小泉親司参議院議員 (共産党))</p>	参議院外交防衛委員会	平成13年05月29日

	<p>上納問題についてお答えいたしますけれども、外務省の報償費が内閣官房に上納されているというところではないことを確認いたしております。それは、私は、現官房長官にももちろん、諸先輩にも伺っておりますが、これまで国会において官房長官や外務大臣経験者、ここにもいらっしやいますけれども、累次述べておられるとおりでございます <small>(質問者：木下厚衆議院議員(民主党))</small></p>	衆議院外務委員会	平成13年06月13日
	<p>歴代の総理大臣、外務大臣、そして官房長官、まあ総理大臣全員じやございませんけれども、からは、上納はなかったというお答えをいただいておりますので、そういうふうに結論づけざるを得ません。 <small>(質問者：菅直人衆議院議員(民主党))</small></p>	参議院決算委員会	平成13年06月15日
	<p>関係者皆様が上納ということはなかったというところを伺っております。関係者皆様が上納というのを信ずる以外にないというふうに思っております。 <small>(質問者：平野貞夫参議院議員(自由党))</small></p>	衆議院外務委員会	平成13年06月27日
	<p>上納につきましては、もう何度も申し上げていることで恐縮でございますけれども、官房長官や外務大臣経験者等に確認をした結果、そういうことはないというところでございますので、そのように認識をいたしております <small>(質問者：木下厚衆議院議員(民主党))</small></p>	衆議院外務委員会	平成13年11月07日
	<p>今こちらにもお二人の外務大臣経験者の大先輩がいらっしやいますけれども、そうした先輩の皆様、それから福田康夫官房長官からも、そうしたことはないということ、公の場で皆様が累次述べていらっしやいます。それから私も、一回ですけれども会計課に参りまして、一部の資料も見せてもらいましたけれども、そうした痕跡は私は見つけることができませんでした。 <small>(質問者：木下厚衆議院議員(民主党))</small></p>	衆議院予算委員会	平成13年11月13日
	<p>当時の関係者とかそれから役所の方に書類を見せてもらったり、あるいは直接お目にかかって伺っておりますけれども、いずれの方もないという、特に官房長官、外務大臣経験者がそうおっしゃっておりますし、私には証拠が見つかりませんので、そのように存じます。 <small>(質問者：上田清司衆議院議員(民主党))</small></p>	衆議院予算委員会	平成14年02月12日
川口順子	<p>外務省報償費が内閣官房に上納されているかどうかということにつきまして、これまでも国会の議論の中で、総理、官房長官、それから歴代の外務大臣等によりまして、そうしたことはない旨今まで説明をされてきているというふうに私も思っております。 <small>(質問者：岡田克也衆議院議員(民主党))</small></p>	衆議院予算委員会	平成14年02月12日
	<p>(外交機密費について)それから、官邸への上納の問題でございますけれども、これにつきましては、歴代の外務大臣もおっしゃっていますとおり、そういうことはないというところでございますので、私はそういうふうに思っております。 <small>(質問者：石井一衆議院議員(民主党))</small></p>	衆議院予算委員会	平成14年02月12日

		外務省報償費が内閣官房に上納されているかどうかということにつきまして、これまでも国会の議論の場におきまして、総理、官房長官及び歴代の外務大臣が、今委員がおっしゃられたように、そうしたことはないという御説明をされてきていただいております。 (質問者：藤島正之衆議院議員(自由党))	衆議院安全保障委員会	平成 14 年 04 月 18 日
荒木清寛	外務副大臣	これは、参議院の各委員会でも外務大臣が何回か申し上げておりますけれども、この外務省の報償費はあくまでも外務省の責任で支出をしているわけでありまして、いわゆるおっしゃるような上納ということはないわけでありまして、このことを私からも改めてここで申し上げます。 (質問者：築瀬進参議院議員(民主党))	参議院内閣委員会	平成 13 年 03 月 27 日
杉浦正健	外務副大臣	外務省の報償費については福田長官も今申されたし、外務大臣も、それから前の大臣、それから福田先生はまたそのときも官房長官でいらつしやいまして、国会で外務省の報償費を官邸に上納させたということはないと再三再四申しておりますし、田中外務大臣も関係者の話をし、内閣官房に上納されているということはないと確認したということを再三再四申しておられるところでございます。それはないと認識しておる次第であります。 (質問者：松本善明衆議院議員(共産党))	衆議院外務委員会	平成 13 年 11 月 07 日
飯村豊	外務大臣官房長	報償費の支出につきましては、各局部きちつと手続を踏んで、事務方から私どものところへ上がってまいりなっております。仮に上納という、つまり、外務省の予算から例えば官房の予算に移すことのお話でございます。そういうものができるとはなっていない。もう四か月これをやっておりますが、大臣決裁をやっておる、サインをしておる者一人として、そのことははっきり申し上げられると思います。 (質問者：木下厚衆議院議員(民主党))	参議院行政監視委員会	平成 13 年 04 月 09 日